

## 平成19年度 単位研究会の事業計画



### 滋賀県公立小中学校事務研究協議会

滋賀県公立小中学校事務研究協議会は、「創造しよう！教育を活かす学校事務を」を活動基本方針に掲げ、経営スタッフとしての力量を高めるために、以下の活動目標を定め、研究活動を進めていきます。

- 1 学校事務に関連する評価についての調査研究の推進  
人事評価制度の試行に伴う自己評価と合わせて学校組織としての学校事務評価の在り方等について研究を進めていきます。
- 2 学校運営に資する効果的・効率的な事務処理体制についての研究の推進  
滋賀県において共同実施が組織的に実践されている地域の連携を深めながら、共同実施が全県的に広がることをめざしていきたくと考えています。
- 3 学校事務に関する情報の共有化の推進  
学校事務に関する情報について、本会ホームページを充実させていくこととあわせて、研修講座や研究大会をとおして情報を共有し、学校現場での実践に繋がる活動を進めていきます。

#### ◎主な事業

第36回滋賀県公立小中学校事務研究大会の開催

大会テーマ 「創造しよう！教育を活かす学校事務を」

期 日 平成19年12月14日（金）

会 場 栗東市:栗東芸術文化会館さきら・ウィングプラザ

内 容 全体会 基調講演ならびにパネルディスカッション  
分科会 湖北ブロックおよび役員会



琵琶湖クルーズ ミシガン

### 大阪府公立学校事務研究会

本年度は、これまでの本会の研究成果のさらなる深化をめざし、特に、あり得るべき「共同実施的組織」の大阪府内における具現化を最大の目標に研究を進めていきます。また、学校事務職員の職務に応じた学校マネジメント能力を高める方策の研究も進めていきます。

さて、第16回府事研研究大会を以下の用に開催します。多数の参加をおまちしております。

- 1 開催日 平成19年11月2日（金）
- 2 会場 エルおおさか（大阪府府立労働センター）
- 3 内容 ・記念講演 演題 人権講演『真の笑いは、平等な心から』



大阪湾クルーズ サンタマリア号

講師 落語家 桂 文福 様

・行政説明 文部科学省

・分科会

第1分科会 『学校事務の組織化から学校改革へ』  
本会研究部研究発表

第2分科会 『学校を担う！～私がめざす学校事務』  
三島地区府事研分科会発表委員会研究発表

## 京都市立学校事務研究会

京都市において開かれた学校づくりと保護者・地域・市民ぐるみで進める教育改革が推進されています。保護者や地域の思いと願いを学校経営に反映させることで、信頼関係が構築され、円滑な学校経営の推進につながります。

そのためには、私たち事務職員が、学校長のリーダーシップのもと、学校経営の参画は当然のこと、学校が地域に開かれ、地域と連携を進める取組に対して、財務運営を含めた総括的な役割が重要になってきます。また、学校裁量の拡大に伴う新たな学校予算の構築には事務職員の力量が問われています。さらに、預り金事務により深く関わることで保護者・地域に情報の発信と説明責任を果たすことになり、信頼される学校づくりにつながるようになります。

この3年間で財務会計・人事給与システムの導入に伴い事務職員の仕事はより多様化してきています。そのような状況の中で事務職員の「職」を確立するため、学校組織の中核を担う存在として学校運営の機能を充実させていかねばなりません。教職員と教育の目的を共有し、「提案型事務職員」を基盤に研究実践を継続します。支部の活性化と自らの課題を克服し、実践を積み重ねることによってスキルをアップさせて行くことが重要です。

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援するため、多様な変化に対応し、「新しい時代」に即応する学校事務職員を創造し、自らが学校経営に積極的に関わるための実践に取り組んで行きましょう。

最後に、来年度（平成20年度）は京都市立学校事務研究会が発足し60周年を迎えます。今後の研究会活動を見据えた研究を推進していきます。

### 1 研究方針

- (1) 学校経営に主体的に参画する事務職員を目指す研究
- (2) 職務内容の標準化と「職の指定」を目指す研究
- (3) 学校組織のシステム化、学校事務の効率化を図るなど、情報ネットワークの構築
- (4) 学校事務の実践に向けた取組の充実



保津川下り

## 神戸市立小中学校事務職員研究会

神戸市立小中学校事務職員研究会は「神戸市立小学校事務研究会」と「神戸市立中学校事務職員会」から成り立ち、活動は個々に行っています。

神戸市立小学校事務研究会は、神戸市の教育目標に則り、子どもの育ちと学びを支援する学校事務を推進するために、学校事務の課題を整理し、標準化・効率化・適正化・安定化を本年度の重点目標に掲げています。その具体的な活動として、昨年度全校配布した「準公費会計事務標準化の手引き」の定着を目指し、研修・実践することによって、準公費事務の標準化を推進します。また、より積極的に学校経営に参画できるよう、効果的・効率的なOA化のあり方を考えます。2月28日（木）には、神戸市総合教育センターで研究大会を開催し、昨年度に引き続き「職務に関する基本要綱」の具体化に向けて、研究発表を行い、討議を深めます。

(小学校ホームページ <http://www.kobe.-c.ed.jp/jimu-es/>)

神戸市立中学校事務職員会は、「学校事務の円滑なる運営を期し、神戸市中学校教育の推進に寄与する」ことを目的とし、会員84名、準会員約20名で活動します。

定例の活動として、毎年5月下旬に定期総会を行い、活動報告・計画・役員選挙・本会会計の収支決算及び予算に関する事項等を決議し、企画委員会・役員会は、毎月1回本会活動の企画・運営について審議しています。また、全会員の活動として、9行政区ごとの区会で当面の課題解決及び情報交換を行います。研究研修活動の推進として、研究委員会は秋に研究集会を開催し、研修部は例年通り自主研修会を行います。また、全事研・近事研への参画、神戸市立小学校事務研究会との連携も行います。広報部は月1回の「事務職員会だより」と機関誌「明星」を発行します。

(中学校ホームページ <http://www.kobe-c.ed.jp/jimu-ms/>)



神戸港クルーズ ロイヤルプリンス



## 奈良県公立小中学校事務研究会

本研究会では、会員相互の連携をもとに学校事務の研究を推進し、会員の資質向上と本県教育の発展に寄与することを目的とし、「学校事務に関する研究及び広報活動」「研究大会の開催」「研修会の開催」「関係機関との連携及び調整」等の事業を進めています。

学校を取り巻く社会や制度の変化に対応できる学校事務の確立を目指して研究を進めると共に、各支部の取組や交流を通して情報の共有を図り、子どもたちの学びや育ちの支援を図っていききたいと考えています。

研究主題「新しい時代における学校事務の確立」にせまるための3つの柱

- 1 実務を通して学校事務職員の存在意義を高める
- 2 学校内や地域等、全体の中での学校事務組織を確立させる
- 3 法的整備を進め、学校事務職員を位置づける

活動の柱

「支部活動の充実と交流」「専門部活動の充実」とし、研究部では、研究主題「新しい時代における学校事務の確立」に向け、調査研究を進めていきます。また、広報部では、機関紙「もにゅめんたる」の発行と「学校事務の手引き」の編纂を行います。

主な事業として、研究大会、研修会、新規採用事務職員フォローアップ事業、標準的職務内容定着化会議を計画しています。

研究大会の開催

学校事務の研究を推進し、会員の資質向上を図るために開催します。

研究大会実行委員会（第6ブロック：大和高田市・五條市・御所市・吉野郡西）を組織し、大会の運営にあたります。

【第34回 奈良県公立小中学校事務研究大会】

大会テーマ 「学校事務にもっと夢を…もっと感動を！」

期 日 平成19年12月7日（金）

内 容 全体会 講演会

分科会 大和郡山市・天理市・生駒市が発表します



吉野川カヌー下り

## 和歌山県小中学校事務研究協議会

いつも近事研の皆様にお知らせする頃には既に終わっていて申し訳ありません。

去る5月24日・25日に和歌山市にて「望まし新時代の学校事務を求めて」—学校や地域に根ざした事務実践を求めて—を研究主題に「平成19年度和歌山県小中学校事務研究大会」を開催しました。

第1日目の講義では、昨年度和歌山県「学校事務改善委員会」のメンバーであった県教育総務局教育政策室の田村班長より「これからの学校改革と学校事務職員」をテーマにお話いただきました。午後は大阪大学大学院人間科学研究科の小野田正利教授をお招きし、

「子どものために手をつなぐ」～学校へのイチャモン（無理難題要求）のウラにあるもの～

をテーマにご講演いただきましたが、深刻な内容ながらも常に聴衆を惹きつける小野田教授のお話に会場いっぱい大爆笑の連続でした。

第2日めは2支部より計7つの分科会が提案され、熱心な協議が行われました。

さて、和歌山県では平成19年度より北山村と太地町を除く県下28市町・計63グループで学校事務の共同実施が本格的にスタートしました。県内を南北に分け、紀北地方は県庁内にある教育庁給与課で、紀南地方は田辺市にある教育庁給与課紀南分室で給与・旅費事務が監理されるようになりました。

まだまだ制度は始まったばかりですが、今のところは大きな混乱もなくすすめられています。

共同実施については、自治体単位で異なるのは勿論のこと、グループ単位でもそれぞれに工夫しながら個性豊かなとりくみが行われています。和歌山県小中学校事務研究協議会では、共同実施の現状を交流し、今後のあり方や課題について研究をすすめていきたいと考えています。

いよいよ近事研和歌山大会（平成20年8月）に向けて、現地実行委員会も始動しました。近畿の皆様のご支援をいただきながら大会成功に向けて、今年も和歌山流で頑張ります。



紀の松島めぐり遊覧船



## サマーフォーラムのご案内

- テ ー マ 「創造しよう！ 学校事務の新世紀を」
- 目 的 21世紀における学校事務の可能性を展望し、社会の要請に応えられる学校事務を創造するとともに学校事務職員の資質の向上を図り、教育の発展に寄与する。
- 主 催 近畿公立小中学校事務職員研究会
- 期 日 平成19年8月23日（木）
- 会 場 京都タワーホテル 八間の間  
〒600-8216 京都市下京区烏丸七条下ル  
TEL 075-361-3211



### 全体研修会

第1セッション 13:45～14:45

講 師 京都市教育委員会

総務部調査課 学校経理係長 有澤 重誠 様

テ ー マ 「新教育システム開発プログラム

-新しい時代の学校財務運営に関する調査研究事業-

第2セッション 15:00～16:45

講 師 山梨英和大学人間文化学部准教授 福本 みちよ 様

演 題 「学校評価における事務職員の役割について」

### 講演講師紹介 福本 みちよ 様

プロフィール 青山学院大学大学院, 国立教育政策研究所研究協力者

専門分野 教育行政・制度, 学校経営, ニュージーランドの教育研究内容  
ニュージーランドにおける学校評価システムを中心に、「学校  
改善」のための学校評価システム, 及び学校支援システムの開発について  
研究をすすめている。

主な著書 「諸外国における学校評価・学校参加の現状とわが国との比較」  
(『指導と評価』, 図書文化社)  
「ニュージーランドにおける学校評価システムに関する研究  
—外部評価機関の位置と役割に着目して—」  
(日本教育制度学会紀要『教育制度学研究』第9号)  
「教育法規の要点第5版」(酒井書店)など

申し込み方法は6月28日付の要項にてご案内しています